



JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

決算説明会

— 2016年3月期第2四半期 —

株式会社JSP

1. 2016年3月期第2四半期決算概要
(以下、2015年度上期)
2. 2016年3月期決算見通し
(以下、2015年度見通し)
3. 2016年3月期第2四半期決算補足
(以下、2015年度上期補足)
4. 新工場建設・開発製品・新規グレード紹介

決算概況

2015年度上期

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	14年上期 実績	15年上期 公表	15年上期 実績	前年 同期比	公表比
売上高	58,266	58,700	57,221	98%	97%
営業利益	2,673	3,400	4,120	154%	121%
経常利益	2,936	3,400	4,107	140%	121%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,157	2,650	2,879	133%	109%

- 円安・原油安の進行 102.2→120.5円/\$、\$104→\$56/バーレル
- 国内は、円安・原油安により企業業績回復するも、耐久消費財の需要低迷、中国経済減速の影響もあり、総じて景気回復は足踏み状態
- 北米は、自動車・住宅等の個人消費が堅調、景気の拡大基調継続
- 欧州は、原油安による個人消費の下支えにより堅調な景気回復
- アジアでは、中国の成長率鈍化に伴う輸出減少、全体としては経済成長継続

押出事業

2015年度上期

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2014年度上期 実績	2015年度上期 実績	前年 同期比
売上高	20,009	18,509	93%
営業利益	698	1,186	170%

国内景気回復遅れにより売上減少、スプレッド回復・償却方法変更により収益改善

- 産業用包装材・ディスプレイ材

「ミラマット」大型家電等の耐久消費財の需要回復の遅れもあり売上減少

「キャプロン」自動車部品包装材などの用途拡大により売上は増加

- 食品包材・容器

「スチレンペーパー」一部即席麺容器で需要回復あるも、販売低調で売上は減少

- 住宅用断熱材・土木資材

「ミラフォーム」建築分野は、高断熱製品の販売が堅調で売上は前年同期並み

土木分野は、公共事業が低調で売上は減少

(単位:百万円)

項目	2014年度上期 実績	2015年度上期 実績	前年 同期比
売上高	34,953	35,862	103%
営業利益	2,289	3,394	148%

EPPは欧米・中国の需要増と円安効果で増収増益、EPSは価格改定で売上減少

- 自動車衝撃緩衝材、家電製品緩衝材用途の「ピーブロック」(英名 ARPRO)
 日本:自動車、IT家電メーカー向け需要減少、価格改定の影響もあり売上減
 北米:自動車部品需要増、グランド基礎緩衝材・敷石用下地材好調で売上増
 南米:ブラジル経済低迷で自動車販売台数減、レアル安の影響あり売上減
 欧州:自動車部品需要は増加、製品価格改定やユーロ安の影響もあり売上減
 アジア:韓国・台湾で需要減、中国・東南アジアで需要掘り起こし全体として売上増
- 魚箱、家電製品緩衝材、住宅用断熱材用途の「スチロダイア」
 水産分野、農業分野の需要は回復傾向、家電分野、建材・土木分野の需要低調

その他

2015年度上期

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2014年度上期 実績	2015年度上期 実績	前年 同期比
売上高	3,303	2,848	86%
営業利益	△30	△18	—

国内は生産回帰で売上増、中国は液晶テレビ梱包材の採用中止で大幅売上減

- 国内一般包材
円安を背景とした国内生産回帰に伴う梱包材需要増加で売上増
- 中国一般包材
液晶テレビ向け梱包材の採用中止により売上大幅減、新たに精密部品トレー成形向けの帯電防止高剛性ソリッドシートの製造販売を開始

目次

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

1. 2016年3月期第2四半期決算概要
(以下、2015年度上期)
2. 2016年3月期決算見通し
(以下、2015年度見通し)
3. 2016年3月期第2四半期決算補足
(以下、2015年度上期補足)
4. 新工場建設・開発製品・新規グレード紹介

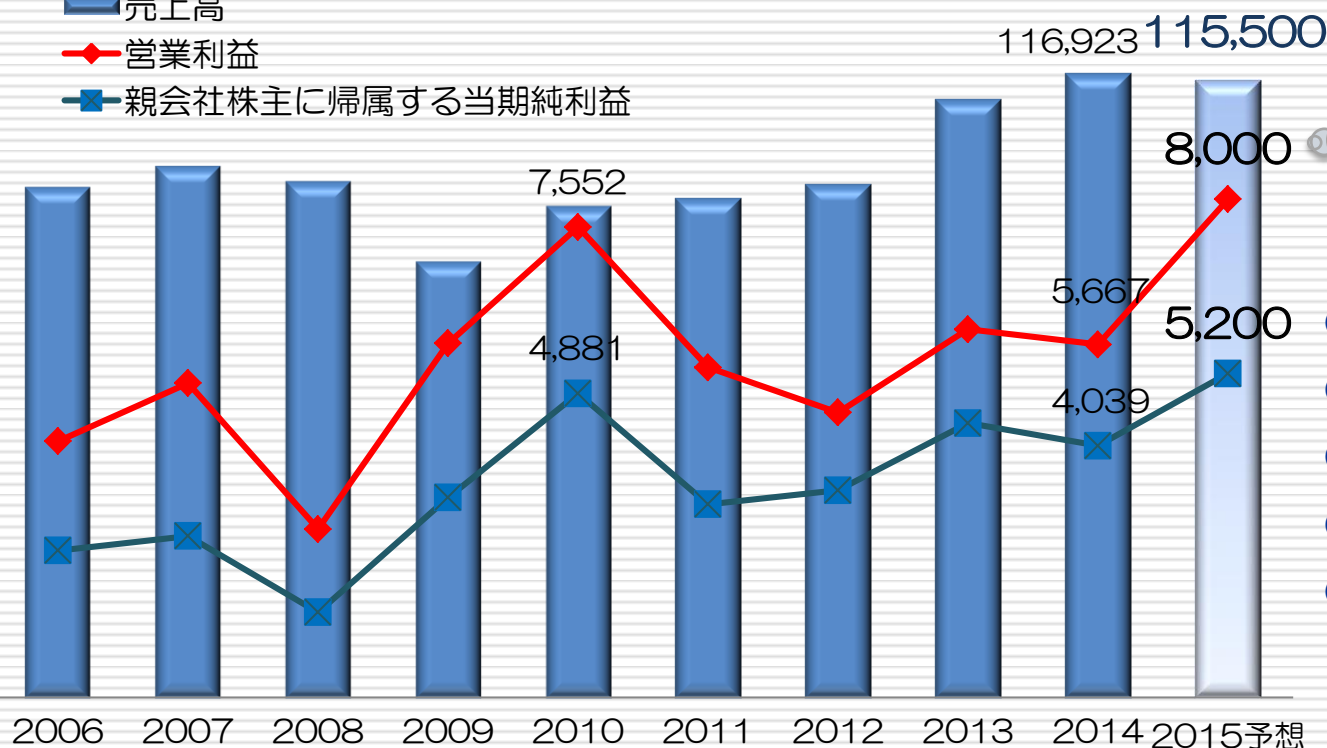
連結業績の推移

2015年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

- 売上高
- ◆ 営業利益
- 親会社株主に帰属する当期純利益



最高益
見込み

- 欧米・中国 業績好調
- スプレッドが概ね回復
- 高付加価値品の拡販
- 円安で外貨換算額増
- 減価償却費の減少

押出事業

2015年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	15/上実績	15/下予想	15年度見通し	15年4月公表	前年比	公表比
売上高	18,509	21,001	39,510	39,402	99%	100%
営業利益	1,186	1,232	2,418	1,967	179%	123%

下期重点施策: 高付加価値品の販売に注力、適正スプレッド維持



食品包材・容器
「スチレン
ペーパー」



産業用包装材
「ミラマット」
「キャプロン」
「Pボード」
「ミラボード」



住宅用断熱材
土木資材
「ミラフォーム」

- 新規グレードの拡販
コアライト(中発泡品)
PSP木目

- スマホ・タブレット市場開拓
- 新用途開拓による増販

- 高断熱性能ミラフォームへ拡販
- ウォールブロック拡販
- 土木分野への販売に注力

ビーズ事業

2015年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	15/上実績	15/下予想	15年度見通し	15年4月公表	前年比	公表比
売上高	35,862	34,450	70,312	73,775	100%	95%
営業利益	3,394	3,213	6,607	5,871	136%	113%

下期重点施策: EPP 新用途拡大・グローバル展開加速 EPS 機能性グレードの拡販



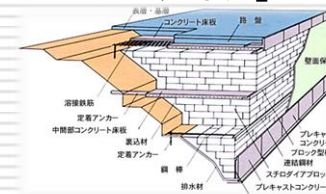
- ・自動車衝撃緩衝材
- ・家電製品緩衝材
- ・グランド基礎緩衝材「ピーブロック」(英名ARPRO)

- グローバル展開を加速(武漢・タイ)
- 自動車部品の採用拡大(リアシートコア材)
- グランド基礎緩衝材等の用途拡大



- 機能性グレード拡販
- 住宅用断熱材及び土木分野の拡販

- ・消失模型鋳造「クリアポール」
- ・耐熱性・耐油性「ヒートポール」
- ・魚箱、家電、住宅土木資材「スチロダイア」



目次

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

1. 2016年3月期第2四半期決算概要
(以下、2015年度上期)
2. 2016年3月期決算見通し
(以下、2015年度見通し)
3. 2016年3月期第2四半期決算補足
(以下、2015年度上期補足)
4. 新工場建設・開発製品・新規グレード紹介

経営成績

2015年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

単位は百万円、(%)は対前期増減率

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2015年度上期	57,221 (△1.8%)	4,120 (54.1%)	4,107 (39.9%)	2,879 (33.5%)
2014年度上期	58,266 (7.0%)	2,673 (△4.5%)	2,936 (△5.1%)	2,157 (△5.3%)

包括利益 : 2015年度上期 2,511百万円(81.2%) 2014年度上期 1,386百万円(△74.2%)

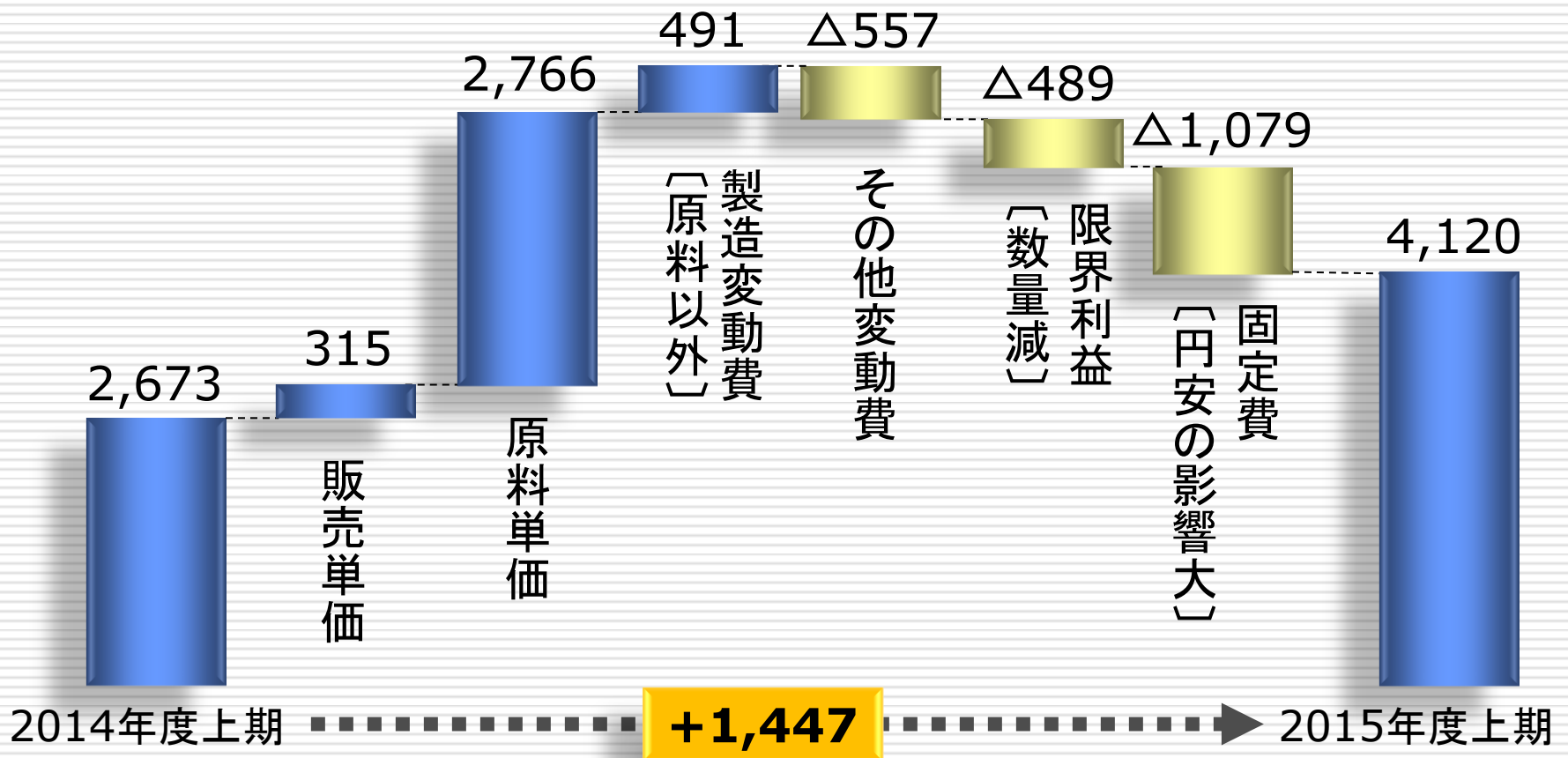
	1株当たり 四半期純利益	自己資本 四半期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2015年度上期	96円60銭	4.3%	3.5%	7.2%
2014年度上期	72円36銭	3.6%	2.7%	4.6%

営業利益の増減要因

2015年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位: 百万円)



営業外損益・特別損益

2015年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

営業外損益

(単位:百万円)

科 目	14/上	15/上
受取利息	110	129
為替差益	104	—
持分法による投資利益	—	6
貸倒引当金戻入額	14	3
その他	183	161
営業外収益合計	412	301
支払利息	97	79
為替差損	—	185
持分法による投資損失	3	—
その他	49	49
営業外費用合計	149	313

特別損益

(単位:百万円)

科 目	14/上	15/上
固定資産売却益	3	4
投資有価証券売却益	30	—
補助金収入	—	301
特別利益合計	33	305
固定資産除却損	22	12
固定資産売却損	—	4
事業構造改善費用	—	388
特別損失合計	22	404

財政状態

2015年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2015年度上期末	118,608	72,414	56.7%	2,257円17銭
2014年度末	116,717	70,352	56.0%	2,190円61銭

(参考)自己資本 2015年上期末67,290百万円 2014年度末65,307百万円

貸借対照表

2015年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

分類	科目	2014年度末	2015年度上期末	増減額
資産の部	流動資産	64,106	65,769	1,663
	固定資産	52,611	52,838	227
	資産合計	116,717	118,608	1,891
負債の部	流動負債	33,460	33,427	△33
	固定負債	12,905	12,765	△140
純資産の部	株主資本	62,409	64,840	2,431
	その他包括利益累計額合計	2,898	2,450	△448
	非支配株主持分	5,044	5,124	80
	負債純資産合計	116,717	118,608	1,891

純資産の部

2015年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

科 目	2014年度末	2015年度上期末	増減額
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,405	13,405	—
利益剰余金	40,253	42,685	2,432
自己株式	△1,378	△1,379	△1
株主資本合計	62,409	64,840	2,431
その他有価証券評価差額金	269	220	△49
為替換算調整勘定	2,348	1,919	△429
退職給付に係る調整累計額	281	310	29
その他包括利益累計額合計	2,898	2,450	△448
非支配株主持分	5,044	5,124	80
純資産合計	116,717	118,608	1,891

キャッシュフロー

2015年度上期補足

設備投資・減価償却・研究開発

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

キャッシュフロー

(単位:百万円)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2015年度上期	3,777	△3,277	△89	9,172
2014年度上期	1,551	△3,998	1,924	6,211

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2015年度上期	3,523	2,328	975
2014年度上期	4,002	2,523	976

(設備投資額はキャッシュベースであります。)

目次

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

1. 2016年3月期第2四半期決算概要
(以下、2015年度上期)
2. 2016年3月期決算見通し
(以下、2015年度見通し)
3. 2016年3月期第2四半期決算補足
(以下、2015年度上期補足)
4. **新工場建設・開発製品・新規グレード紹介**

新工場建設①

武漢工場建設

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

中国武漢 発泡ポリプロピレンビーズ工場「ピーブロック(英名ARPRO)」

中国全体 生産能力24,000トンへ



【背景】

- 富裕層が沿岸部から内陸部にも増加
- 自動車生産台数の増加
- 環境汚染の深刻化から車体の軽量化が進む

【新会社の概要】

- (1) 社名: 杰斯比塑料(武漢)有限公司
- (2) 所在地: 中華人民共和国「武漢経済技術開発区」
- (3) 事業内容: 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売
- (4) 総投資額: 約12億円
- (5) 敷地面積: 21,000㎡
- (6) 建築面積: 7,920㎡
- (7) 生産開始: 2017年1月
- (8) 年間生産能力: 3,000トン

新工場建設②

タイ工場建設

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

タイ 発泡ポリプロピレンビーズ工場「ピーブロック(英名ARPRO)」



【背景】

- 高倍率品の需要増
- 安定供給、営業力・技術サポートの強化

【新会社の概要】

- (1) 社名: JSP Foam Products (Thailand) Co., Ltd.
- (2) 所在地: タイ王国「アジア工業団地」
(バンコク市内東約30km)
- (3) 事業内容: 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売、
技術サポート
- (4) 総投資額: 約6億円
- (5) 敷地面積: 13,600㎡
- (6) 建築面積: 3,500㎡
- (7) 生産開始: 2016年3月
- (8) 年間生産能力: 1,800トン

新規採用案件

リアシートクッション

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

トヨタ自動車の新興国向け世界戦略車「IMV」のリアシートクッションコア材に「ピーブロック®(英名ARPRO)」が採用



Hilux Revo Double Cab

※トヨタタイランド社ホームページより掲載

トヨタ自動車の新興国向け世界戦略車「IMV」のピックアップトラック(ダブルキャブタイプ)のリアシートクッションコア材にピーブロック®(英名ARPRO®)が採用。生産国であるタイ、アルゼンチン、南アフリカ、マレーシア向けに当社製品が供給される。JSPのグローバル供給体制・開発能力が評価され、採用に至る。大幅な重量削減により、燃費向上に貢献が期待される。

IMV: Innovative International Multi-purpose Vehicle

開発製品①

integxion

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

北米 電子線架橋発泡ポリエチレンシート「integxion」事業への参入
ミシガン州ジャクソン工場 2015年1月より生産開始



医療用テープ



自動車ドアシールド



ラミネート床下材



フレキシソ印刷
マウンティングシート



ミラーガセット

【特徴】

- 均一で微細な気泡構造、美しい外観
- 優れた弾力性、緩衝性
- 独立気泡のため耐水性、断熱性に優れている
- 軽量で浮力に優れている
- 耐油性、耐薬品性

多層化技術を用いた高性能発泡ポリエチレンシート「xeallogic」



(イメージ図)

用途開拓中

- ・ボトルキャップパッキン材
- ・各種容器パッキン材

【特徴】

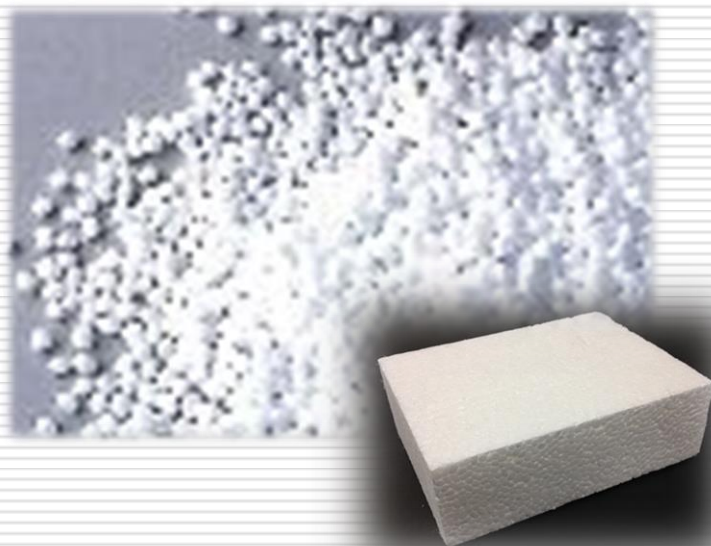
- 多層化技術を用いた高性能発泡シート
- 優れた耐油性、耐薬品性

開発製品③

ポリ乳酸発泡ビーズ・発泡体LACTIF

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

環境にやさしい植物由来のポリ乳酸発泡ビーズ・発泡体「LACTIF」



【特徴】

- 植物由来
 - 硬質発泡体
 - 成形での収縮が少ない
 - マテリアルリサイクルが可能
 - 高温高湿環境で加水分解
 - FRPとの接着性に特に優れる
- Fiber Reinforced Plastics
ガラス繊維＋不飽和ポリエステル

用途開拓中

- ・太陽光発電等の再生可能エネルギー関連軽量化部材
- ・船舶・車両などモビリティ関連の軽量化部材

各種樹脂・金属・無機素材と発泡体との複合体「ACTech」



用途開拓中

【ACTech とは】

当社独自の発泡体と熱硬化性樹脂を含む各種樹脂及び金属や無機素材を、当社独自技術で複合化させた複合部材製品群の総称

【特徴】

- 発泡体の持つ圧倒的な軽量性、断熱性
- 複合化素材の強度、剛性
- 今迄に無い画期的な複合部材

開発製品⑤

超微細発泡シート

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

極めて高い光反射率（100%に近い）「超微細発泡シート」



液晶パネル、LED反射板等

【超微細発泡シートとは】

当社独自技術に拠り開発した、一方向に超微細な気泡構造を持つ無機発泡ガスを用いた多層押し発泡シート

【特徴】

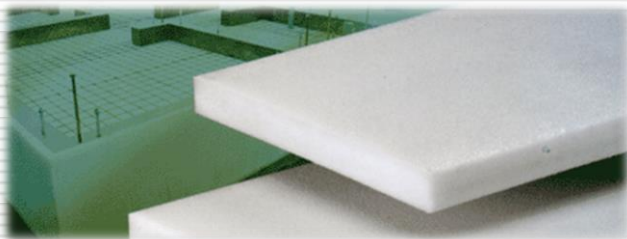
- 極めて高い光反射率（100%に近い）
- 真空成型による賦形が可能
- 独自の製造技術によるコスト競争力

開発製品⑥

ミラポリカフォーム

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

ポリカーボネートを当社技術で発泡させた「ミラポリカフォーム」
防蟻剤なしでシロアリに侵食されない唯一の発泡プラスチック断熱材



【特徴】

- 防蟻性に優れている
- 高い安全性
- 長期安定性
- 施工性に優れている
- 耐衝撃性が高い(靱性が高い)
- 耐熱性に優れている
- 自己消火性を有している

他素材との複合化による新用途開拓

- 小型風力発電の羽コア材
- 鉄骨代替素材等

新規グレード①

ミラフォームラムダ

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

高性能・新次世代型断熱材「ミラフォームラムダ」

2020年住宅・構築物の改正省エネ基準の義務化に向けた需要増に大いに期待

超高性能な断熱性
熱伝導率0.022W/m・K(23℃)を実現。
吸水性が低く安定した性能を発揮します。

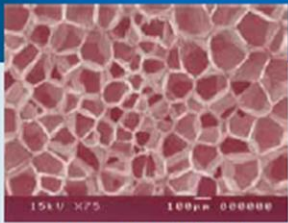
高断熱のメカニズム

気泡膜の新技术による
輻射熱の抑制・ガスバリア性UP

+

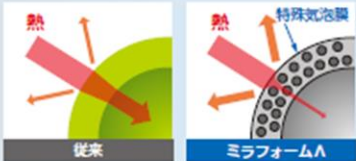
気泡形状による
熱伝導の抑制効果

超高断熱化の実現



15kV X75 100µm 000000

ミラフォームA(ラムダ)の気泡写真



熱 熱 特殊気泡膜

従来 ミラフォームA

熱が気泡膜を透過するイメージ

環境・健康・安全対策
ノンフロン・ノンホルムアルデヒド・4VOC基準に適合。

優れた機械物性
ミラフォーム同様 曲げ強度(靱性)に高い性能を発揮。

▶規格

厚さ(mm)	25・30・40・50・55
幅(mm)	910
長さ(mm)	1820
表面状態・色	カットボード・シルバー



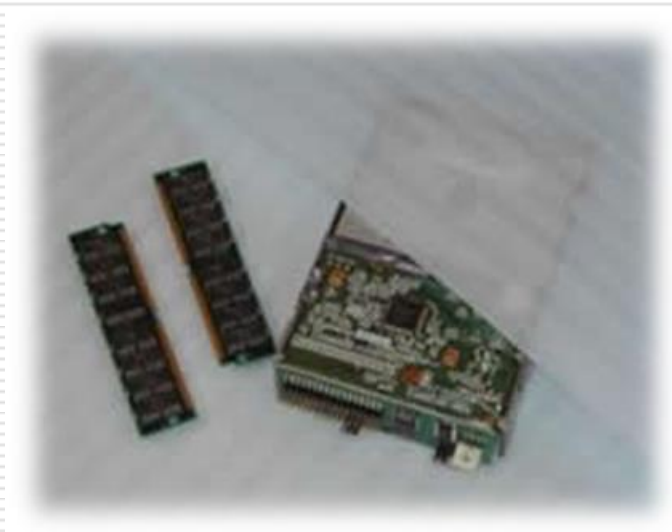
- **高性能な断熱材**
熱伝導率0.022W/m・K
吸水性が低く安定性能
- **環境・健康・安全対策**
一般ミラフォーム同様
(ノンフロン・ノンホルムアル
デヒド・4VOC基準適合)
- **優れた機械物性**
曲げ強度に高い性能

新規グレード②

ミラマットエース

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

永久帯電防止機能を持つ発泡ポリエチレンシート「ミラマットエース」



【特徴】

- 静電気によるホコリ、ゴミの付着を抑えます
- 湿度、温度に依存せずに、安定した表面固有抵抗値を実現
- 製品への移行汚染が低減
- 省資源・リサイクル適正に優れています
- 従来製品ミラマットとその他の機能性は同等

【用途】

液晶パネル基板の表面保護材等



表面固有抵抗値： $10^{13}(\Omega)$ 以下

新規グレード③

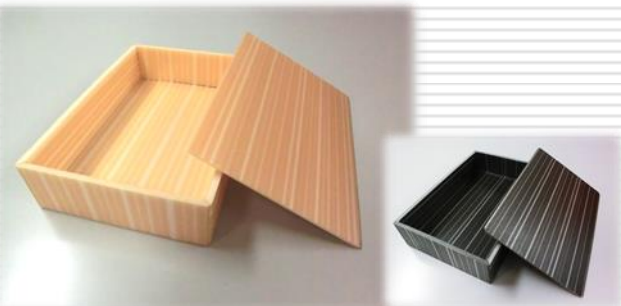
木目 スチレンペーパー
ミラボード

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

フィルムを使わない木目模様付きポリスチレン発泡シート・ボード



PSP木目



ミラボードグレイン

- 印刷フィルムを使用しない
世界初の当社独自技術によって印刷フィルムを使用することなく木目模様を付与
- 環境にやさしい
印刷フィルムを使用しないため有機溶剤の揮発はありません
- 良好な成形性、加工性
一般の製品同様に真空成形が可能
強度は従来製品と同等

新規グレード④

コアライト

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

中発泡ポリスチレンシート「コアライト」



コアライト



コアライト木目

コンビニの食品容器としての採用が拡大

【特徴】

●表面特性

PSPと差異化：表面ソリッド層＋コアは発泡体

●軽量化

ソリッド品に比べ容器リサイクル法による
費用負担が軽減

●低発泡

高発泡品に比べ、
物流効率・保管効率・作業効率がアップ

●コスト競争力

二次加工のフィルム費用、ラミ加工費用を削減

新規グレード⑤

エレンポールNEO

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

ポリマーアロイ、発泡剤含浸技術により開発した
ポリエチレン/ポリスチレン複合ビーズ「エレンポールNEO」



【特徴】

●柔軟性・耐衝撃性

発泡ポリスチレン、ハイインパクト系発泡ポリスチレンより柔らかく、高い曲げ弾性を持っており、衝撃吸収材や重量物等の緩衝材に適しています

●成形性

発泡性ポリスチレンの成形設備を使って予備発泡、成形加工を行うことができます

●耐油性

【用途】

- ・機械部品、電子部品などのクッション材、通い箱
- ・TVなどのAV機器、家電製品のクッション材
- ・自動車バンパーコア材、嵩上げ材、衝撃吸収材

株式会社JSP

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ Tel 03-6212-6306 IR室
